

令和元年度 第6回美郷町教育委員会議事録

日 時 令和元年9月25日（水）
16時15分～16時45分
場 所 山口県ホテルサンルート山口

<出席者> 田邊教育長、芦矢委員、大草委員、難波委員、漆谷教育課長

<欠席者> 西原委員

<議 題> 1、準要保護児童生徒の認定について 【認定】
2、消費税率引き上げ及び学校職員へ対する給食費補助の
廃止について 【承認】

○教育課長 それでは、第6回の教育委員会を始めさせていただきます。教育
長からご挨拶をお願いします。

○教育長 次の諸報告でお話しさせていただきます。
では会議録署名委員さんは大草委員さんと難波委員さんで願
いいたします。会期は今日一日限りでお願いいたします。

○委員一同 はい。

○教育長 会議録は読まれましたでしょうか。

○委員一同 はい。

○芦矢委員 4ページ。私の発言で「どういった」の小さい「っ」が抜けてい
ます。

○教育課長 わかりました。

○芦矢委員 あとはありませんでした。

○教育長 ありがとうございました。
それでは私の諸報告ですが、レジュメをご覧ください。
今後ですが、10月2日に邑智小でICTの公開授業があります。
それから、10月3日から5日まで山くじらフォーラムがみさと
館と吾郷で初めて開かれます。70人くらい宿泊される方もあり、
町外県外から来られます。

10月4日に川本町の悠邑ふるさと会館で県の小学校長会研究大会が邑智郡の所管で行われます。私は午前中だけ参加します。10月8日に郡新人戦で挨拶があるのは剣道だけです。大和中で私が行います。

10月10日に町教研の一斉研修会が今年は大和中学校で行われますが、私はこの日、文部科学省で功労者表彰をいただくことになっております。あくる日は町村教育長会の理事会もありますので、町教研は欠席させていただきます。

16日に県の社会教育課の課長が社会教育主事の派遣のことで来られます。17日に邑智郡小中学校音楽祭が悠邑ふるさと会館で行われます。19日の土曜日に松江市の県民会館でJ A E Tの全国大会があります。大和小の坂井校長先生と邑智小の錦織先生、南口先生が発表されます。

10月23日から管内の教育長会が始まりまして、人事異動に関する教育長会です。24日には三重県の川越町議会がI C Tの視察に来られ、邑智小に行かれます。10月25日に県の教育研究大会が大田市であり、新井紀子先生が来られ講演をされます。

次のページにこの前お渡ししました島根県市町村教育委員会連合会の要望事項を出雲市の榎野教育長さんと浜田市の石本教育長さんと私とで県へ持っていきました。その時は課長さん方が6名くらい出られました。これはその要望に対する回答です。

回答はまたご覧いただきたいのですが、次にある少人数学級が新聞に出ました。その新聞記事も要望書の回答の後に3枚つけています。

少人数学級というのは島根県が独自に行っているもので、小学校1, 2年生は30人学級、3年生以上を35人学級にしています。この予算が10億2500万円。県単でやっておりますがこれを医療費の助成に回そう、見直そうという意見が出ています。丸山知事を応援した筆頭の五百川県議さんが言っておられるそうです。

せっかく3年前に中3まで3年間かかってやって、せっかくいい具合になったのに。これは町単ではできません。医療費の補助のように町単ではできません。県の教育長はこのことをあまり知られなくて、新聞に出たばかりであまり話を聞いていないということでした。何とか現状を維持したいということではありましたが。それから、県の要望書の裏に人事異動のルールの見直しのことが出ています。これは出雲市が前から要望しておられまして、松江市は人事権の移譲を言っていました。出雲市は権限の移譲はいいから人事異動のルールを見直してほしいと。教員は同じ学校に7年間、同じ市町村に15年しかいません。出雲市はブラジル人が大変多くて、ポルトガル語を話せる教員が少なく、異動すると誰も喋れ

る人がいなくなったということです。英語が喋れる教員はいますが、ポルトガル語はなかなかいませんから、特例でも作ればよいと思うのです。

○芦矢委員 特例でいいと思います。

○教育長 はい、7年15年のルールを崩すとまた大変ですから、特例の対応でいいと思います。県としては人事権の移譲を蹴った都合上、検討組織は作らないと言っています。ここに書いてありますように、教育事務所管内で意見をまとめて出してもらいたいということになりました。7年、15年を原則にして柔軟にやっていかないと難しいと思います。東部から僻地へ4年来てもらおうというルールは守ってもらわないと困ります。成り立たなくなりますから。浜田管内はおそらくこれでまとまるのではないかと思います。

出雲市が言うのはもう一つ、大規模校に教員が行きたがらないということです。それが何とか義務付けにならないだろうかと。

○大草委員 大規模校になると教員は大変でしょうからね。

○教育長 そうということです。県の要望についてはまたゆっくりご覧ください。新聞記事も3枚つけておりますので。

そのあとに、民話研究プロジェクトの資料がありますので、課長から説明してください。

○教育課長 はい、前回の教育委員会で民話プロジェクトの企画があることをお伝えしました。県立大学から要項が送られてきましたので、それを付けております。そこに書いてあるとおりで、11月16日の午後1時から4時までということで、島根県立大学松江キャンパスから山下先生、岩田先生、島根大学名誉教授の田中先生が学生を連れて来られます。10月になりましたら、会場確認に見えられるということで、それから詳しい日程が決まります。

山下先生から当日10話読み語りをしたいということで、私の方で気になる話をお伝えしました。山下先生の方で最終的に10話を選んで、地元の方に読んでいただくということになります。10人のうち5人くらいは中学生にも加わってもらえたらと思っています。

一般の方5人くらいに参加していただきたいので、主に民話が採取されている比之宮地域で現在読み手をあたっています。

○教育長 最後に「教職員の働き方プラン」の案を付けています。各町村で

作らなくてははいけません。県のプランをもとにして、他の市町のものを参考にしました。大田市のものです。まだ邑智郡の2町は出していない。また、お読みください。来週校長会にかけますので何かありましたらお知らせください。私からは以上です。では、議事が2件ありますので、課長から説明してください。

○教育課長 一番目の「準要保護児童生徒の認定について」ですが、中途での申請がございましたので、今回提出させていただきました。
(個人情報につき記載省略)

○教育長 この件はよろしいでしょうか。

○委員一同 はい。

○教育長 ありがとうございます。では、認定するということで。では、次を。

○教育課長 次は「消費税率引き上げ及び学校職員へ対する給食費補助の廃止について」です。前回の教育委員会で教職員の給食費の補助について3学期から廃止をすると説明いたしましたが、そのあとで10月から消費税が上がることをどう取り扱うかということが問題になりました。校長会で話をしていただき、10月1日から補助を廃止して、消費税も10%でいただくということになりました。

○教育長 子どもたちの給食は8%のままですが、そのほかは違います。教職員と給食センター職員分は10%になります。子どもたちは町の補助が入って200円と220円のみで、大人については292円と322円。かなり上がります。

次のページに年間の補助額が計算してあります。今年は87万円浮くという計算になります。例年750万円予算化していますが、万円程度減額になります。

ここに給食費は子どもしか軽減税率の対象にはならないということが書いてあります。こんなややこしいことはしてもらいたくありません。店で食べるか持って帰って食べるかということは話題になっていましたが、給食までこのようなことになるとは思いませんでした。

こうしたことで、10月から一律負担してもらおうということになりました。子育て支援の補助金なので教職員に3割補助してはいけなかったわけですから。県内の他の市町に課長が聞いてみましたが、全額補助している吉賀町でも、無料は子どもだけで大人は

当たり前にもらっているということでした。

○芦矢委員 美郷町と同じ程度の町ではどうですか。

○教育課長 うちと同じくらいの補助をしている町はありません。

○教育長 邑南町が食材の一部補助をしています。

○芦矢委員 川本町は？

○教育課長 していません。

○教育長 補助をしている町は少ないです。

○芦矢委員 今までの恩恵を受けていたということですね。

○教育長 ただ、この補助が始まった時期に教職員から駐車場料金を400円もらうようになりました。

○芦矢委員 駐車場料金は全県のことで、県職員などはもっと高いはずです。
(給食費のことは) これで改めて襟を正すということでしょうから。
300円であの給食が食べられるのであれば十分だと思います。

○難波委員 やるしかないでしょう。

○教育長 では10月からこのようにさせていただきます。

○委員一同 異議はありません。

○教育長 以上でよろしいでしょうか。それでは終わらせていただきます。